

## 訪問介護事業所、現状把握のための調査（2017年度）

### 調査結果

長生郡市内の42事業所（ワムネット調べ）へ配布、回答事業者14事業所

【 】の数字=回答事業者数

#### ①あなたの職種を教えてください。複数回答あり

訪問介護事業所【12】 管理者【14】 サービス提供責任者【12】 常勤ヘルパー【0】  
登録ヘルパー【0】 無回答【3】 その他【0】

#### ②訪問介護の業務について教えてください。

多忙である（プライベートな時間も業務に利用している）【10】

- ・営業時間以外での訪問対応に苦勞している
- ・サービスに対する力量に差が大きい。訪問介護に関わる人が減少する分、その差を小さくしなければ利用者の不満につながる。
- ・訪問介護は報酬が低いために数をこなすことが使命となる。多くは登録ヘルパーであるためになかなか思うような時間に動く事を嫌う。しかし今後訪問介護は重要になるために現状での待遇では発展しづらい。
- ・ヘルパーとの兼務なのでサ責本来の仕事をする時間が取れない。
- ・人材不足

多忙ではない（一般的な範囲）【2】

- ・現状無理のないようにヘルパーに働いてもらっている。
- ・小規模事業所なので法改正についていくのが大変です。雇用の件も賃金等も改正ごとに変更なんてできません。登録ヘルパーの雇用管理に気を使います。

考えたことない【0】

無回答【2】

#### ③業務について相談できる相手はいますか？どんな事を相談したいですか？

職場内にいる【10】

- ・自分の判断が正しかどうか
- ・今後の訪問介護の流れ、人材確保について。
- ・利用者の体調、生活全般、利用者の不満、その他事業所や仲間に対する不満。
- ・制度改正の情報等

職場外にいる【1】

- ・今後のサービスの方向性について直接情報は入りませんが、研修等に参加すると危機感ばかり募ります。旧友のケアマネか福祉系の教師等に尋ねたりしています。

いない【3】

#### ④訪問介護は社会的にどのように見られていると感じますか？

介護の専門家である【2】

お手伝いさん【6】

・専門家として見られるようになってきているが、まだまだお手伝いさんとしてしかみられていないことも多い。

どちらとも思わない【5】

・人によって違いがあり専門として見てくださる場合もあるがお手伝いさんとしか思われていない場合もある。社会的には訪問をすごく安易なものと、とらえているように感じる。

・ここ数年でお手伝いさんの考えは払拭されてきてきていると思われるが、専門家の領域までいっているかは疑問。

・ご利用者様によってお手伝いさんのように扱われたりしてムツと思うこともあります。

・ご利用者にもヘルパー自身も自分たちは介護保険という制度を利用しているのだという認識を持ちその中でどのようにすべきかを自身で考えて欲しいと思う。

無回答【1】

・働いている方の意識の問題と思っています。それがサービスに反映されていると思います。利用者もサービスする側も料金の殆どが公費で賄われている認識が不足しています。

#### ⑤スキルアップのための研修に参加していますか？

職場でしているので十分【5】

・職場でしていますが、次に繋がるものがないように思います。

・職場でしているが不十分と感じる。サ責としての研修が少ない。

していない、不十分と感じる【2】

休暇等で自分の時間やお金を使い研修している【4】

・ヘルパーの質の向上、サ責の研修

・年に2回程度、その都度案内があれば行っている。

・体力を使う仕事なので身体が疲れにくい介護方法。食事介助、服薬方法、利用者急変時の対応。

無回答【3】

・職場内研修、外部研修共に参加しています。休みの日には代休をいただいています。

・常勤者は出来る限り研修に参加しています。特にサ責。登録ヘルパーは情報の提供をしても費用と時給を支給してもなかなか参加しません。また常勤者が土、日に参加しても代休がとれないので疲労感が否めないのが悩むところです。(利用者に反映してしまう。)

・毎月職場でも研修会を行っている。他研修の案内は多く掲示してあり自由に参加できている。

⑥ヘルパー職として定着させるために何が必要と思いますか？複数回答有り

業務内容の確立【3】

社会的評価が必要【8】

収入保障【10】

労働環境の改善が必要【2】

その他【2】

無回答【2】

・一人に対して一人で対応していくわけで、適正も大事と思う。自立に向けた支援や声掛けを行うことが出来ているか。

・教育と収入保障

・圧倒的に人材不足である。解決策なんて・・・全部必要でしょ！特に収入保障については確固たるものがほしいところです。保険点数が下がり続ける中で事業所側で上げていくのは困難です。

・定着させたいが、なかなかやりたいという人がいない。人が集まらずにどうしたらよいのか？

⑦事業所間の横のつながりは必要だと思いますか？

必要と思う【12】

・他の事業所はどうしているか知りたいと思う時。

・問題や悩みを共有し解決していくことで訪問介護全体のスキルアップをはかる事が必要だと思うから。また相談できるサ責の存在が他事業所にいることは大きな支えとなり情報収取の場となるから。

・制度が変わった時など情報を正しく知ったりする事、時間があればとの事です。

・小さい事業所にとっては必要と思います。法改正の解釈等、効果的な計画の立て方等。只、信頼関係の構築が必要です。このところが難題と思います。介護に関わる方々即ち良い人たちばかりではありません。

・どこの事業所も悩みが多く抱えきれないと思うので必要であると思う。

・毎日の訪問等一事業所では賄いきれない時

必要ないと思う【0】

あってもなくても良い【0】

無回答【2】

⑧研修や交流会等参加しやすい頻度、時間帯をおしえてください。

頻度（週1回【0】月1回【6】半年に1回【2】1年に1回【0】）

曜日（月【2】火【6】水【4】木【4】金【2】土、日【0】）

時間（早朝【0】午前中【0】午後【3】夕方【3】夜間【2】）

忙しくて時間が取れない【2】

- ・同じ内容の研修を数回開いてもらおうと参加しやすい。
- ・ほかのメンバーの都合の良い日で
- ・ケアマネ協議会のようにサ責の協議会があっても良いと思う。
- ・2か月に1回程度

⑨あなたが訪問介護を始めようとした理由を教えてください。

人のために仕事がしたいと思った【5】

時間の有効活用【0】

自分にもできると思った【2】

なんとなく【2】

無回答【5】

- ・家族の介護保険利用し介護の苦労を見てきた。
- ・自分も介護が必要な年齢となりヘルパーさんのお世話になり自宅で生活したいと思ったから。
- ・施設で働いていてその流れで今に至っています。
- ・色々理由はあります。ヘルパー自身もドラマがあり今ここに至るのだと思います。転職を思いながら、介護職って悲しい。
- ・自分の住んでいる空間で過ごすことは本人にとって心地よいものであると思って。（施設勤務をしていたので。）
- ・ケアマネへのステップ
- ・介護力が乏しい為、研修の成果を自分の親のために生かそうと思った結果、介護を必要とする多くの高齢者に出会い役に立ちたいと考えた。

⑩これからも訪問介護に従事したいと思えますか？

思う【9】

- ・自分も通る道であり、いつか人のお世話になるその日まで出来ることはすべきと思う。
- ・体力的、精神的に不安がある。
- ・やりがいがある仕事とは思っていますが、今のままではいけないと思っています。
- ・ご利用者とささいなことで共感が得られた時うれしいと思うし、この仕事をしていて良かったと感じる。
- ・在宅を支える訪問介護にはこれからも従事したいと思えますが、今の現状では問題がたくさんあるなかで、よりよい方向へ進めるように努力をしていきたいと思えます。
- ・楽しい。

思わない【2】

- ・人材不足で無理な時間の訪問が多すぎる。利用者の必要な時間に対応できない事。
- ・人員の確保、賃金の問題。

考えたことなし（生活のために働く必要がある）【0】

無回答【3】

- ・こんな質問は～なんだか気落ちがします。社会にとって必要だからやっていると思えます。そしてそれが働き方があっている事や利用者さんの笑顔（そうでない方も多い）に励まされ自身のパワーに変換しているはずで。

以上です。

ご多忙のところご協力ありがとうございました。